



2025年2月20日

各 位

会 社 名 帝 国 織 維 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 会 長 執 行 役 員 白 岩 強
(コード番号 3302 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 執 行 役 員 岡 村 建
(TEL. 03-3281-3022)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）について

当社は、2024年3月1日に公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」につきまして、現状を分析・評価し、改善に向けた取組方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）」をご覧ください。

以 上

**「資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応(アップデート)」**

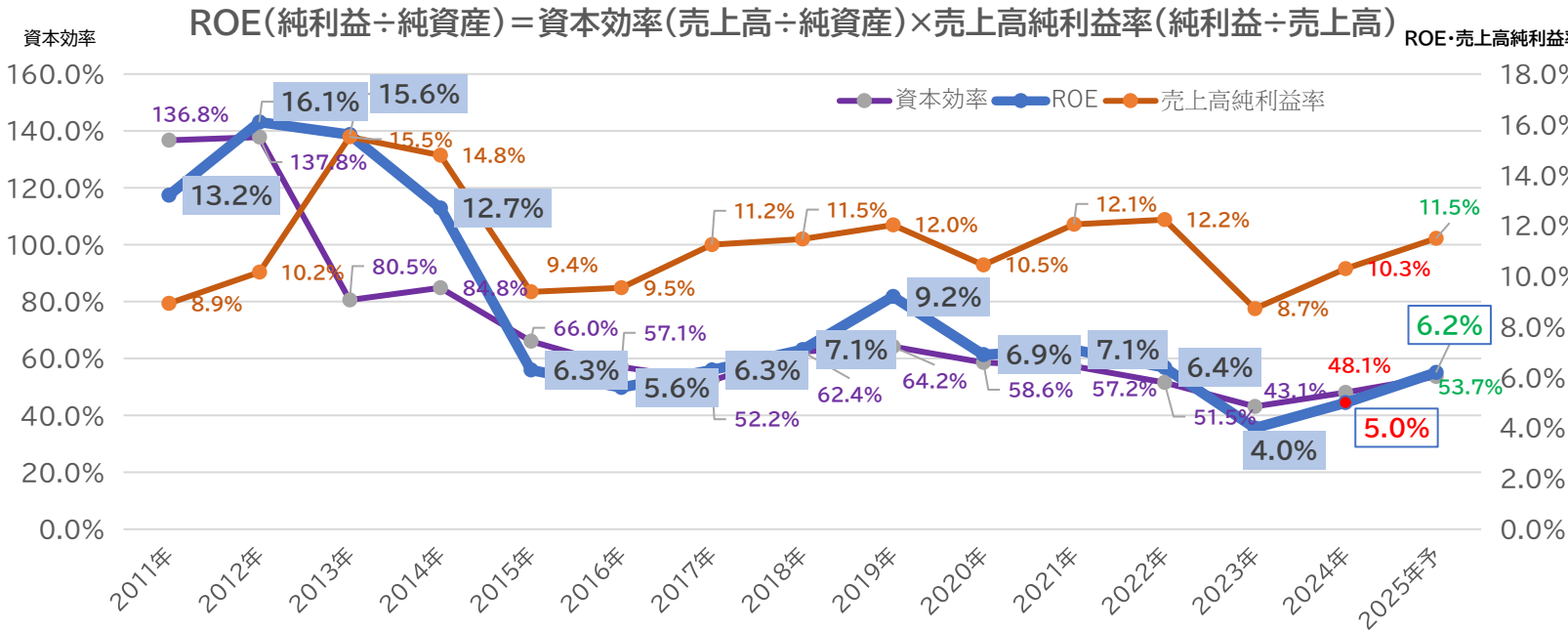
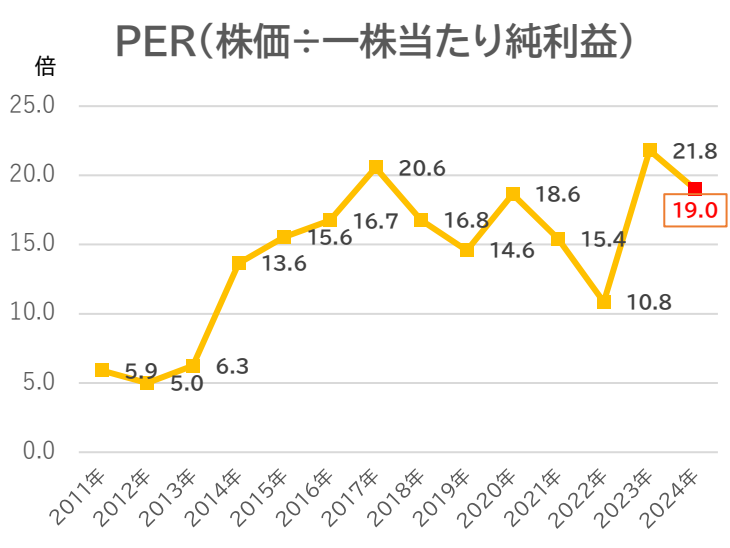
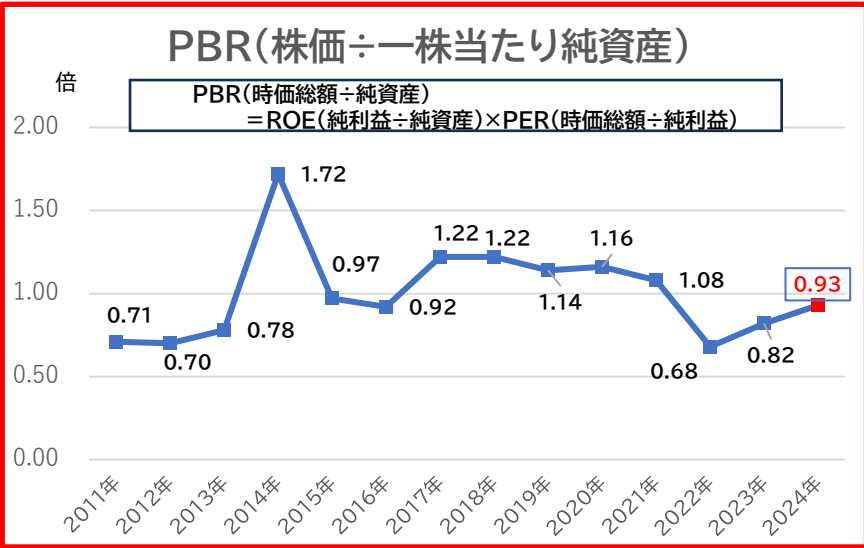
2025年2月20日

PBR向上に向けた取り組み(1) 方針と目標(2024年3月1日に開示) **実績等補記**

- ・防災事業を進化させ、収益力の持続的拡大を図る
- ・資本効率を意識した取り組みを実践する

		テイセン2025 (最終期2025年12月期)	未来創造計画 (最終期2031年12月期)
成長戦略		【主要テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ・送排水ビジネスの拡大 ・セキュリティビジネスの開拓 ・防災特殊車輛ビジネスの創造 ・メンテナンス業務の事業化 	【目指す姿】 <ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる災害に備えた事業の深化・拡大 ・環境変化・技術革新への対応・活用 ・防災レジリエンス(縮災)向上へ貢献 ・人材育成／他社との協業・連携／成長投資
ROE向上	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・連結営業利益50億円以上 ('24年実績35億円 '25年予想48億円) ・連結経常利益60億円以上 ('24年実績46億円 '25年予想60億円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連結営業利益70億円以上 ・連結経常利益80億円以上
	資本効率 資本配分	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的にROE8%及びそれ以上の水準を安定的に実現する ('24年実績5.0% 前年比+1.0%) ・投資資金の確保と株主還元の拡充、人的投資・成長投資(M&Aを含む)を実施する 	
	株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ・総還元性向40%以上(5年平均) 総還元性向 2024年度40% 2025年度見込64% ・機動的な自社株取得の実施を検討 2025年2月取締役会 自己株取得決議(500千株/12.5億円) 	
PER向上	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ESG経営の実践 ・リスク対応力の強化 	
	IR/SRの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・機関投資家、個人投資家とのコミュニケーション活発化、PR活動強化 ・当社の成長戦略への理解浸透 	

PBR向上に向けた取り組み(2) 2024年度の各種指標



2024年度の状況

■PBR(株価／一株当たり純資産) 前年比+0.11倍
 ・2023年末 0.82倍(株価2,043円／一株当たり純資産2,479円)
 ・2024年末 0.93倍(株価2,366円／一株当たり純資産2,534円)
 期中ピーク1.21倍(9月末株価3,075円／一株当たり純資産2,512円*)
*2024年9月末時点

■PER(株価／一株当たり純利益) 前年比▲2.8倍
 ・2023年末 21.8倍(株価2,043円／一株当たり純利益 94円)
 ・2024年末 19.0倍(株価2,366円／一株当たり純利益124円)
 引き続き、PERは比較的高い水準で推移。自然災害のリスクが高まっていることを背景に、防災事業に対する成長への期待が背景にあり、防災庁設置に向けた政府の取り組みも一因と認識。

■ROE(純利益／純資産) 前年比+1.0%
 ・2023年末 4.0%(資本効率43.1%、売上高純利益率 8.7%)
 ・2024年末 5.0%(資本効率48.1%、売上高純利益率10.3%)
 ・資本コスト 当社認識 概ね5%前後、投資家 概ね8%
(複数投資家から聴取)
 引き続きガバナンス強化及び情報開示による資本コスト低減に取り組む。
 ・収益力向上によるROE改善を基本として、資本効率改善に向け株主還元を拡充する。(ROE目標値8%)
(2025年2月取締役会にて自己株取得決議 500千株/12.5億円)

課題認識

- ROE向上
 - ・収益力の向上に取り組む。具体的には、P3をご参照。
- PER向上・資本コスト低減
 - ・ガバナンス強化
 - ・IR活動強化(適時適切な情報開示及び成長性)

- ・高収益性ビジネスの維持・向上を図る
- ・長期的視点で、保有資産を活用し、成長に向けた投資を実施する



- ・当社は、メーカー機能を土台として、商社機能を拡充させ、事業を発展させて来た
- ・ファーストレスポnder(消防・警察・自衛隊)とのリレーションを背景に、海外の最新鋭・最先端の商材を拡販
- ・自社製品の商材開発・用途開発に加え、商材の発掘をグローバルに展開する

商社機能



- ・システム化
- ・海外商材の国内仕様化への対応



メーカー機能

- ・欧州一の消防車メーカー
ローゼンバウワー社
(オーストリア)
- ・ポンプメーカー
ハイトランス社(オランダ)
- ・その他国内外サプライヤー
- ・海外の同業者ネットワーク

- ・鹿沼工場(ホース)
- ・下野工場
(車輛製造・開発・実験)



ローゼンバウワー社 空港化学消防車



ハイトランス社 ハイドロサブシステム



ルーカス社 救助機材



ローデシュワルツ社 ボディスキャナー



ボブキャット社 スキッドステアローダー



兼松エンジニアリング社 土砂吸引車



アプステック社 HSS



ラビスキャン社 Itemiser



消防用ホース



大口径ホース(大量送排水用)



救助工作車(消防レスキュー隊)



海水利用型消防水利システム
(ハイドロサブシステム)

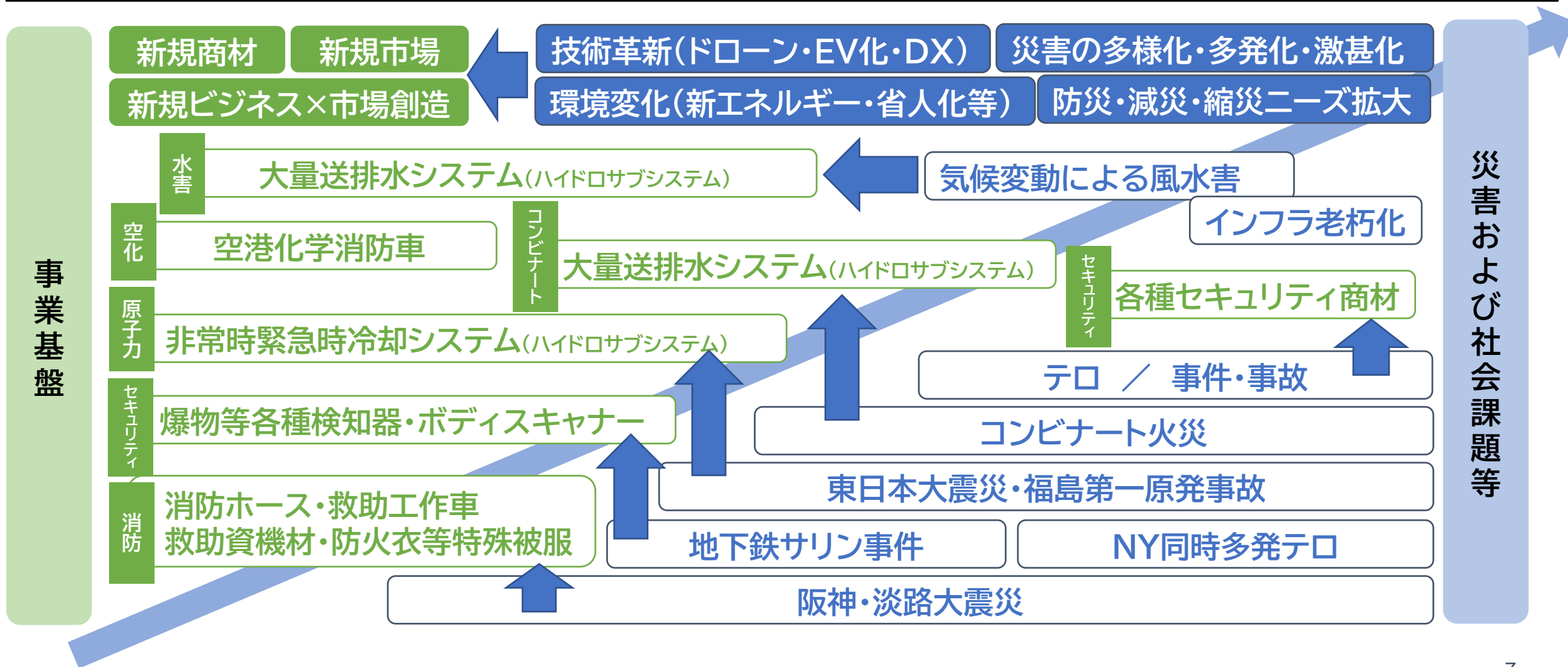
PBR向上に向けた取り組み(5) 長期的な事業戦略

- ・多発化・激甚化・多様化する各種災害に対し、環境変化・技術革新等を伴い対応すべき領域は大きく広がる
- ・防災レジリエンス(縮災=予防と回復)向上という社会課題に取り組み、新規ビジネス・市場創造を目指す

	火災	震災	風水害・土砂災害	火山災害	原子力災害	鉄道災害	航空機災害	テロ
防災 (被害を出さない)	インフラ老朽化					新規商材 ×新規市場	・ボディ スキャナー	・CBRNE商材 (検知器)
減災 (被害を最小限とする)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防ホース ・防火衣 ・高所車椅子 救助車 ・大量送排水 システム(HS) 	環境変化(新たなエネルギーへの対応・省人化等) ・技術革新(ドローン・EV等)への対応・活用			<ul style="list-style-type: none"> ・非常時緊急時 冷却システム (HS) 		<ul style="list-style-type: none"> ・空港化学 消防車 	
縮災 (予防と回復)	復旧・復興等に関わる 「新規ビジネス×市場創造」			新規商材 ×新規市場				

PBR向上に向けた取り組み(6) 長期的な事業戦略

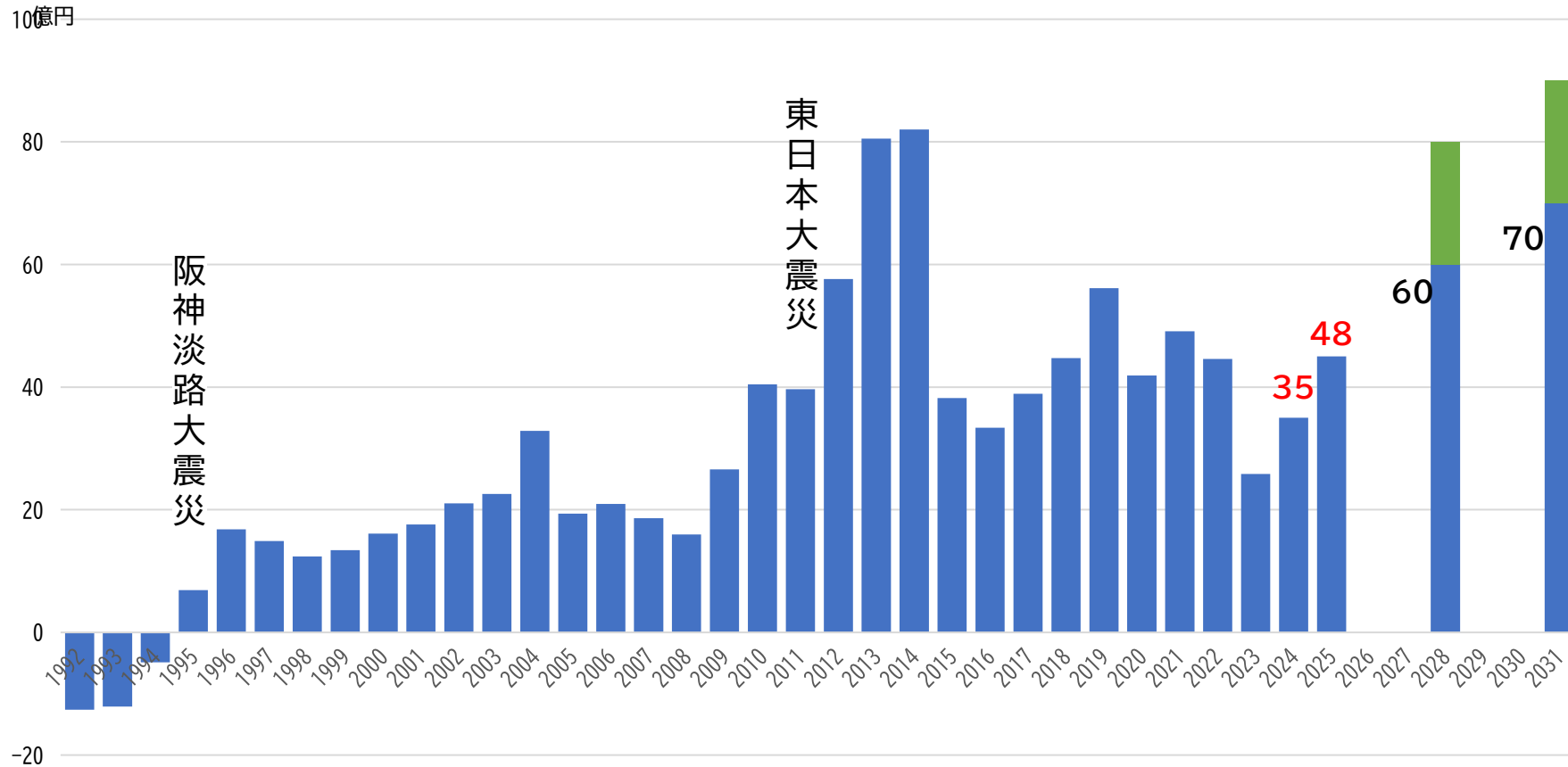
- ・事業領域の拡大と深化の系譜 → これまでに獲得および展開中の事業基盤(ex.ハイドロサブシステムの用途開発等)
- ・今後の新規商材、新規市場および新規ビジネス×市場創造 → 今後獲得する事業基盤(投資/他社との連携)



- 既存の事業基盤による業績拡大
- 今後獲得する事業基盤による業績拡大

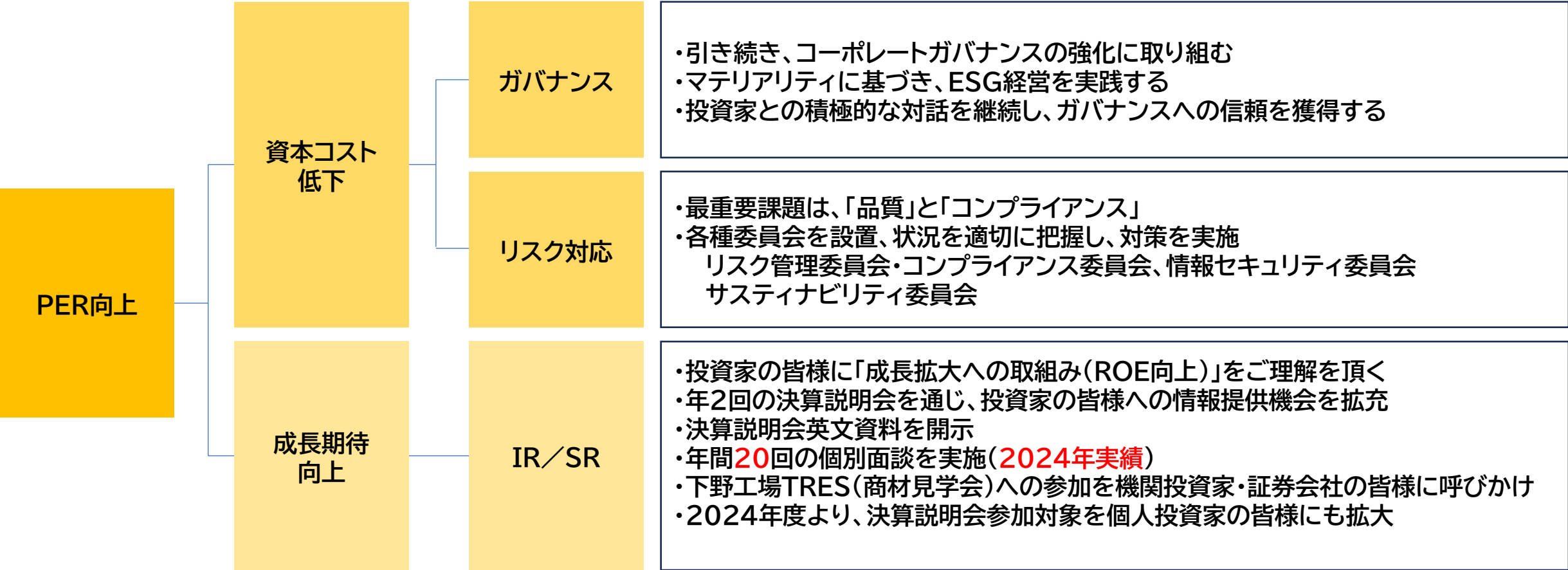
【既存商材×既存市場】	【既存商材×新規市場】	【新規商材×既存市場】
【新規商材×新規市場】	【新規ビジネス×市場創造】	

連結営業利益推移及び今後の展望



PBR向上に向けた取り組み(8) PERの向上

- ・コーポレートガバナンスの強化及び投資家との対話を通じ、投資家からの信頼を獲得する
- ・各種委員会を活用し、適切なリスク管理・対策を実施する



- ・中長期的な視点に立ち、事業領域の深化・拡大に沿った成長投資(M&Aを含む)を実施
- ・事業戦略に沿ったテーマを選定し、研究開発投資を実施
- ・人的投資、システム投資・DXの推進などの分野についても投資を強化

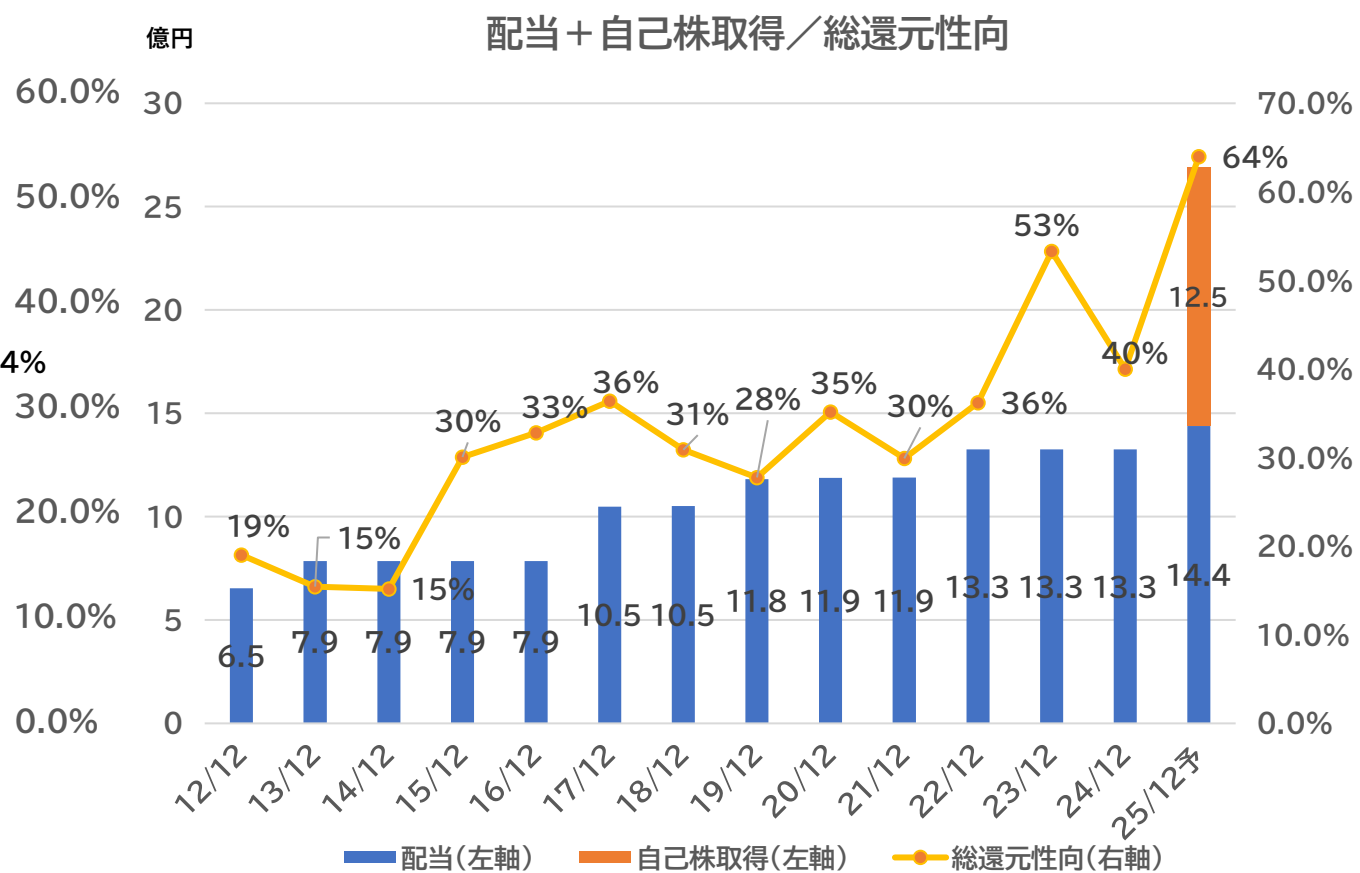
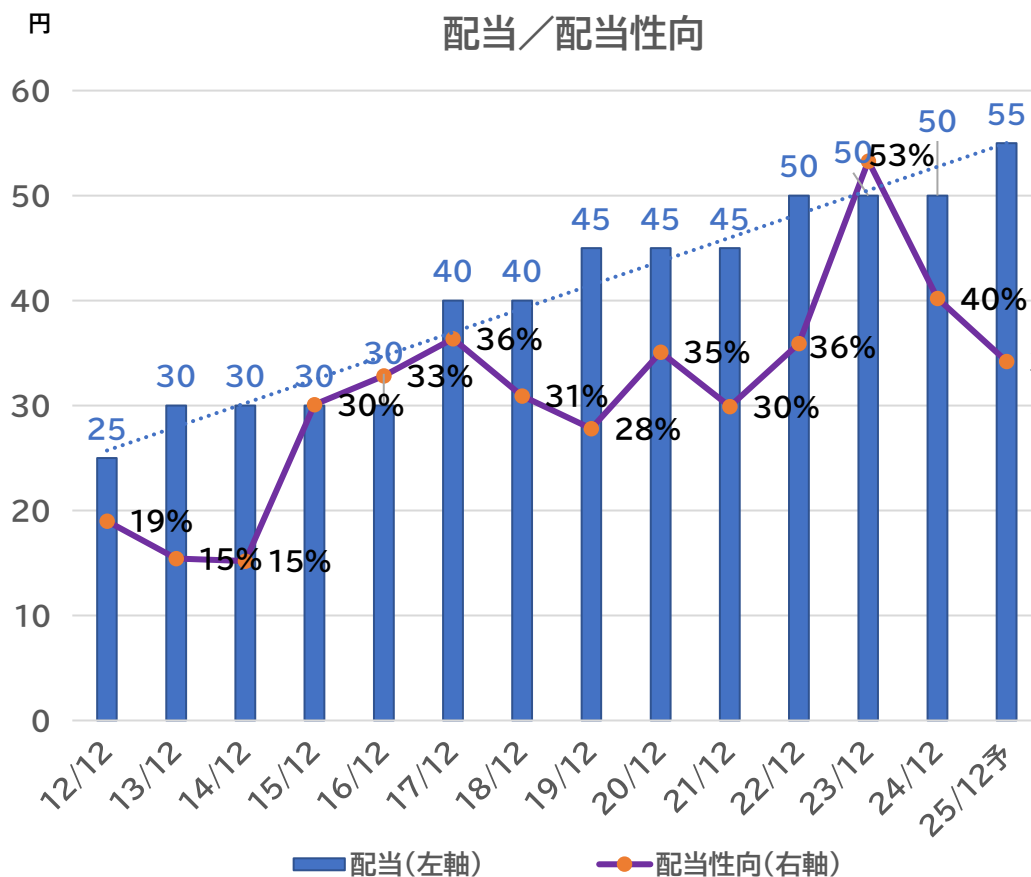
<5年間(2024~2028年)累計予想>

収入		支出		収入	
	2024年実績		2024年実績		
営業CF 200億円		株主還元 90億円		● 営業キャッシュフロー 200億円 純利益+減価償却 計250億円* — 運転資金増加 50億円 *目標値に基づく5年間平均 純利益44億円+減価償却7億円÷50億円	
	20億円		27億円	● 資金調達枠 90億円 資産活用+資金調達	
資金調達枠 90億円		投資枠 200億円		● 株主還元 90億円 総還元性向 40% *5年間平均 純利益44億円×40%÷18億円	
	18億円		11億円	● 投資枠 200億円 M&A含む成長投資、人的投資、システム・DX投資、研究開発投資 更新投資	

※2024年実績:①営業CFは2024年度CF計算書による、②株主還元は2025年予定の配当と自己株取得の金額、③投資は2024年度有形・無形資産の取得等、資金調達は①~③の差額

PBR向上に向けた取り組み(10) 株主還元 今回追加

- ・利益配分については、収益に応じた配当を行うことを基本方針とし、過去増配を重ねて来た
- ・今後5年間(2024~2029年度)の目標は、総還元性向40%以上
- ・機動的な自己株取得を方針に追加し、2025年2月取締役会にて、500千株/12.5億円の自己株取得を決議



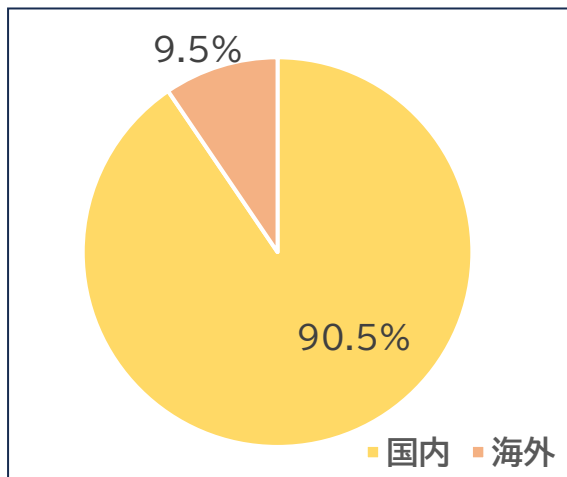
■2024年度活動実績

種別	回数・社数	主な対応者
決算説明会	2回 (延べ 法人38社、個人2,951名)	代表取締役社長、取締役副社長
商材説明会 (下野工場)	1回(8社)	取締役副社長、経営企画部スタッフ、 営業担当部長他
個別面談	17社(20回) (うち、海外6社)	取締役副社長、経営企画部スタッフ

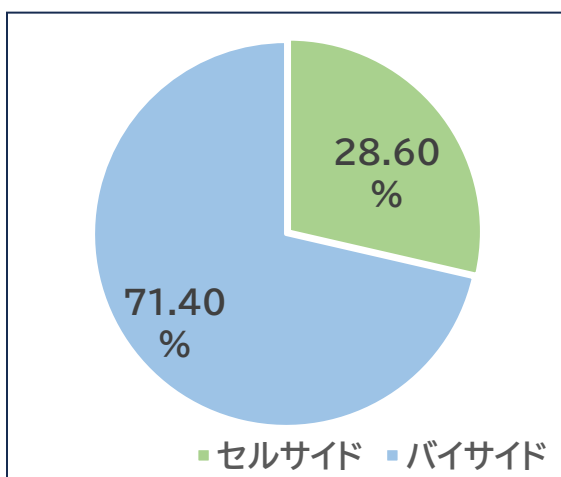
注)2025年1月 個人投資家向けIRフェア参加(代表取締役会長が登壇) 約500名参加

＜投資家の内訳＞ 説明会参加及び個別面談実施(延べ63社)

＜国内・海外比率＞



＜バイサイド・セルサイド比率＞



■投資家の主な関心及び意見等

(機関投資家/主に個別面談)

- ・防災業界の仕組み・動向 (入札制度、法律等)
- ・事業内容 (市場、市場シェア、競合、商材等)
- ・事業戦略、成長ストーリー
- ・資本効率、資本配分、政策保有株式 等

(個人投資家/主にWEBによる決算説明会)

- ・知名度アップ、積極的なIR活動を期待。 ・社名と事業内容がミスマッチ
- ・防災事業はテーマ性があり、魅力を感じる。一方で成長戦略をもっと聞きたい。
- ・株主還元の更なる充実を期待。

■株主・投資家との対話に基づく主な対応

要望	対応
IR活動・情報の充実	・各種説明会の開催 ・IRイベント参加 ・各種資料の英文化 ・事業説明用動画のHP掲載 ＜今後の検討事項＞・アナリストレポート ・統合報告書
株主還元強化	・株主還元を強化(総還元性向40%以上) ・自己株取得を機動的に実施
収益力・資本効率向上	・事業の深化・拡大/株主還元の拡充 (P3、4ご参照)

■経営陣へのフィードバック

種別	頻度
IR活動状況	四半期/年間総括
投資家との対話の状況	四半期/年間総括
株式関連指標・株価情報	四半期/年間総括